

《冬道の事故防止》

- 信号の変わり目を予測し、無理な通過はしない
- 黄色信号は、「止まれ」です
- 発進時の「追突」に注意しましょう
- 交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意しましょう
- 凍結路面 スピードダウンと車間距離

急ブレーキ・急ハンドル・急発進
「急」のつく操作は、スリップの原因

事故防止のため、「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

構内・バック事故の根絶

《冬期間の労働災害防止》

- 走るな！、転ぶぞ！、屋外作業、凍結路面は目に見えないぞ！
- 寒い外、心も体も、冷えている、あせると危ない、冬の外仕事
- 作業中、足を滑らせ、『転倒』に注意しましょう

- 作業する時、トラック(荷台も)に乗る時、降りる時は安全靴の底の雪を落とす
- トラック(荷台も)から降りる時は、路面の状況を確認し、飛び降りることは厳禁
- ポケットに手を突っ込んで歩かない
- 積雪時の構内、現場内は細心の注意を払い、常に足元の確認

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

ゆるやかなカーブ、一部凍結
軽トラックと乗用車が正面衝突、軽トラックの男性死亡

- ◇凍結路面 スピードダウンと車間距離◇
- ◇急ブレーキ、急ハンドルは禁物！◇
- ◇慌てず、焦らず走行しましょう◇

2025/2/2(日)

2日午前8時すぎ、秋田県の国道で軽トラックと乗用車が正面衝突しました。この事故で軽トラックを運転していた男性(61)が頭などを強く打ち死亡しました。乗用車を運転していた男性(64)は、右肩の骨を折るなどの重傷を負いました。現場は、片側一車線のゆるやかなカーブで路面は一部凍結していたということです。

昼12時 ダンプの荷台と車体に挟まれ、男性死亡

何らかの理由で荷台が降りて体が挟まれた

- ◇車に乗る前に、車両を確認 (ユニックの状態、登坂板の状態、ダンプのベッセルの状態)◇

2025/2/2(日)

2日昼12時40分ごろ、熊本県の牧場で「男性が挟まれている」と119番通報がありました。男性(51)はダンプカーの荷台と車体の間に上半身を挟まれていて、間もなく死亡が確認されました。警察は、男性が1人でダンプカーの荷台を上げて作業中、何らかの理由で荷台が降りて体が挟まれたとみて、調べています。

酒気帯び運転

昼過ぎに信号待ちの車に追突で発覚

63歳の男を“飲酒運転”で逮捕

「やってしまったことは間違いない！何も弁解いたしません！」

- ◇飲酒運転 こんなことで、自分の人生を「棒に振ってよいのか」◇
- ◇飲酒運転…平穏な日常を一瞬で悲劇に変えてしまいます◇

2025/2/2(日)

1日午後1時30分ごろ、室蘭市内で酒気を帯びた状態で乗用車を運転したとして、63歳の男が酒気帯び運転の現行犯で逮捕されました。男は当時、信号待ちをしていた別の乗用車に追突。駆けつけた警察官が男から酒の臭いがすることに気づきました。調べたところ、男の呼気から基準値の2倍以上のアルコールが検出されたため逮捕しました。調べに男は「やってしまったことは間違いないので何も弁解いたしません」と話しています。女性は首と腰を打撲する軽傷です。男にけがはありません。